

第14回

The 14th Annual Meeting of
the Japanese Society for Destination Therapy

Destination Therapy (DT)

研究会

DTのさらなる
成熟に向けて

2023年10月7日(土)

会場 | パシフィコ横浜ノース

当番世話人 | 筒井 裕之
国際医療福祉大学 副学長
国際医療福祉大学大学院・医学部 教授

大会事務局
第14回 Destination Therapy (DT) 研究会 大会事務局
九州大学大学院医学研究院 循環器内科
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1

運営事務局
株式会社コングレ
〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5
TEL: 03-3510-3701 FAX: 03-3510-3702
E-mail: dt2023@congre.co.jp



ご挨拶

DTのさらなる成熟に向けて

第14回 Destination Therapy (DT) 研究会 当番世話人

国際医療福祉大学 副学長
国際医療福祉大学大学院・医学部 教授

筒井裕之



この度、第14回 Destination Therapy (DT) 研究会を2023年10月7日(土)午後、パシフィコ横浜ノースにて開催させていただくこととなりました。第27回日本心不全学会学術集会(10月6日～8日)と同時開催となります。

2021年4月30日にHeartMate 3によるDTが保険収載されて2年以上が経過し、DTは少しずつですが着実に日常臨床に浸透しつつあります。さらに、2023年7月1日からはDT実施施設が従来の7施設から19施設へと拡大され、今後さらなる症例数の増加が期待されます。一方で、DTに関する様々な課題や懸念は必ずしも解決しているとはいえ、現場の医師やスタッフの間でDTに関して慎重な意見が多いのも事実です。

そのような情勢の中で、今回の研究会のテーマは「DTのさらなる成熟に向けて」とさせていただきます。まずは特別講演として、「DTのさらなる普及に向けて、いま何が必要か」というテーマで講演いただきます。シンポジウム①では新たにDT実施施設となった施設の取り組みを紹介していただき、シンポジウム②ではDTの最大の課題である遠隔期や終末期の問題について議論していただく予定です。なお会の半ばではコーヒブレイクとして、現地にお集まりいただいた皆様が自由に交流していただける時間を設けましたので、是非とも他施設の方々との自由な意見交換を楽しんでいただければ幸いです。

日本心不全学会学術集会参加の方には例年通り本研究会参加証を無料で発行致します。また、本研究会は植込型補助人工心臓管理施設、植込型補助人工心臓管理医、人工心臓管理技術認定士の認定に必要となる学会・研究会として認められています。

木々の葉が色づき始める頃に、横浜の地で皆様にお会いできることを大変楽しみにしております。末筆ながら、皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。